

**製品名: PCNA ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21497**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:29kD;Observed MW:36kD

**抗原情報**

遺伝子名	ATLD2 ATLD2;cb16;Cyclin;DNA polymerase delta auxiliary protein;etID36690.10;fa28e03;fb36g03;HGNC8729;MGC8367;Mutagen-sensitive 209
別名	protein;OTTHUMP00000030189;OTTHUMP00000030190;PCNA;Pcna/cyclin;PCNA_HUMAN;PCNAR;Polymerase delta accessory protein;Proliferating cell nuclear antigen;wu:fa28e03;wu:fb36g03
遺伝子 ID	5111.0
SwissProt ID	P12004

## 免疫原

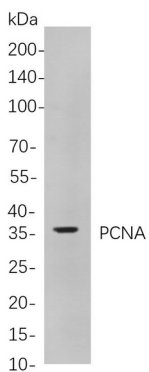
ヒト PCNA の合成ペプチド

## 背景

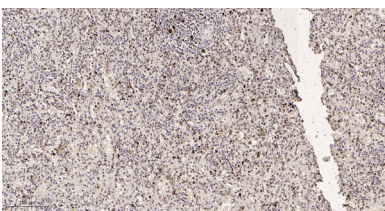
細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は核内に存在し、DNA ポリメラーゼデルタの補因子である。コードされるタンパク質はホモ三量体として作用し、DNA 複製におけるリーディング鎖合成の進行性を高める。DNA 損傷にตอบสนองして、このタンパク質はユビキチン化され、RAD6 依存性 DNA 修復経路に関与する。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2 つの転写産物バリエーションが見つかっている。この遺伝子の擬遺伝子は、4 番染色体と X 染色体に存在することが報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

## 画像データ



PCNA ウサギ mAb を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト脾臓組織の免疫組織化学分析。1、PCNA ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。